

「生徒による主体的な議論に関する実践報告書及びマニュアル」を作成しました

- ✓ 県教育委員会が取材・実施依頼を行った6校の取組を紹介
- ✓ 株式会社 ZOZO コーポレートアイデンティティ (CI) 室と連携した事業紹介
- ✓ 議論の実施方法をマニュアル化

(イ) 株式会社 ZOZO との連携

「制服」を題材に、幅広く学校や会社といった「集団」の在り方について、「多様性」という観点から様々な活動に取り組んでいる株式会社 ZOZO の企業ブランディング部門職員を招聘した議論が、県教育委員会の仲介によって実現した。

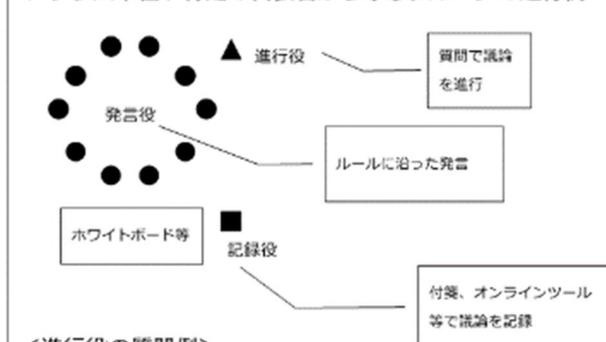


▲株式会社 ZOZO による講義 (左)
生徒の各グループに、株式会社 ZOZO のスタッフが議論の進行役として配置

2 株式会社 ZOZO による議論ファシリテート

上記のような経緯の中で、11月上旬に、株式会社 ZOZO のファシリテートによる議論を実施した。以下、その概要についてまとめる。

◆ クラス単位や特定の代表者からなるグループの進行例



<進行役の質問例>

- さんの……という発言について、
- 何故そう思いますか。
 - 具体的な事例を挙げられますか。
 - ■■と理解して、間違いないですか。(または)と言い直して、間違いないですか。
 - そのおえ方に基づくと、△△△△という場合は▲▲▲▲ということですか。(ま

県教委が取材・実施依頼をした各校の取組をコンパクトにまとめて紹介しています。

株式会社 ZOZO のスタッフによるファシリテートで、「目指す学校像」について意見交換しました。

各校の実践例や当課が実施した研修等の 実例より、クラス規模から学年・全校規模における議論の進め方について、マニュアル化しました。



チーバくん

是非、御活用ください

お問い合わせ先：
教育振興部児童生徒安全課
電話 043-223-4066

令和5年4月14日付教児安第63号にて各県立学校等に発出